

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		園芸学専攻
科目名称 [英語名称]	造園計画特論Ⅱ [Advanced Study of Landscape Planning and DesignⅡ]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	642522	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	関西 剛康			学位授与の方針 との関連	修士課程DP1, 2		
授業概要	この授業では造園計画特論Ⅰを発展させて、造園計画における高度な応用理論を中心に学びます。日進月歩する造園計画の高度な専門的知識と技術について、国内外の先進的な学術研究成果をもとにして、発展する造園計画の展開について検証し、その概念と手法について学習します。						
関連する科目	「造園計画特論Ⅰ」「東洋庭園学特論Ⅰ」「東洋庭園学特論Ⅱ」「造園計画特別演習」						
授業の進め方と方法	基本的に授業は、アクティブラーニング方式によって実施して行きます。毎回の授業構成は以下のとおりです。授業前半は講義をします【学術・知識のインプット】。授業後半は、グループ学習、ディスカッションや課題発表(問題解決学習、プレゼンテーション)等を行います【学術・知識の醸成とアウトプット】。						
授業計画	<p>第01回 造園計画特論Ⅱの概要説明と心得 講義全体の概要、評価方法について説明する。</p> <p>第02回 造園計画の応用理論の変遷と今後の発展性 造園計画の応用理論について学ぶ。</p> <p>第03回 造園計画の研究視点およびその背景(庭園空間編)</p> <p>第04回 造園計画の研究手法および解析手法(庭園空間編)</p> <p>第05回 造園計画の先進事例の研究と学術論文事例の分析(庭園空間編) 庭園空間に関する造園計画について学ぶ。</p> <p>第06回 造園計画の研究視点およびその背景(緑地環境編)</p> <p>第07回 造園計画の研究手法および解析手法(緑地環境編)</p> <p>第08回 造園計画の先進事例の研究と学術論文事例の分析(緑地環境編) 緑地環境に関する造園計画について学ぶ。</p> <p>第09回 造園計画の研究視点およびその背景(緑のまちづくり編)</p> <p>第10回 造園計画の研究手法および解析手法(緑のまちづくり編)</p> <p>第11回 造園計画の先進事例の研究と学術論文事例の分析(緑のまちづくり編) 緑のまちづくりに関する造園計画について学ぶ。</p> <p>第12回 造園計画の研究視点およびその背景(緑のマネジメント編)</p> <p>第13回 造園計画の研究手法および解析手法(緑のマネジメント編)</p> <p>第14回 造園計画の先進事例の研究と学術論文事例の分析(緑のマネジメント編) 緑のマネジメントに関する造園計画について学ぶ。</p> <p>第15回:造園計画特論Ⅱのまとめと今後 造園計画についての総括を行う。</p>						
授業の到達目標	専門的な知識を理解したうえで、社会資本としての造園計画についての基礎および最新の知見を修得することを到達目標とします。						
授業時間外の学修	<p>1.授業で配布する学術論文ならびに専門図書等を授業前に精読しておくこと。</p> <p>2.授業後にさらに理解を深めるために再度精読すること。</p> <p>3.大学院の授業であるため、事前に参考となる研究資料を準備しておくこと。</p> <p>4.予習復習は1時間程度行うこと。</p>						
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説をします。			評価方法	発表・研究した内容に関するレポート(100点)		
テキスト	テキストは使用しないが、その代わりに適宜プリント資料を配布する。						
参考書	<p>1.『ランドスケープ研究』日本造園学会</p> <p>2.『ランドスケープ研究作品集』日本造園学会</p> <p>3.『ランドスケープデザイン』マルモ出版 など</p>						
備考							